

(参考)新環境総合計画の中期的目標と進捗状況

分野	環境総合計画に掲げた目標	目標値(2020年)	計画策定時の状況		最新の状況		目標達成状況※1	目標達成に向けての進捗状況※2	目標達成に向けた方策等	
			数値	年度	数値	年度				
低炭素	■1990年比で25%の温室効果ガス排出量を削減する。※3	4,434万t	5,078万t	2008	5,516万t	2011	—	-68.0%	温室効果ガス1990年度比2014年度までに15%削減に向けた具体的な対策の実施(2012年3月に地球温暖化対策実行計画を策定)	
	太陽光発電の導入によるCO <sub>2</sub> 削減量を2009年比30倍に増やす。	102万t	3.4万トン	2009	7.6万t	2012	7.5%	4.3%	太陽光発電普及に向けた融資制度や普及啓発事業等の実施	
	府内で保有されるエコカーの割合を50%に増やす。	50%	1.9%(6.7万台)	2008	12.2%(42万台)	2011	24.4%	21.4%	・普通充電器設置等のインフラ整備 ・エコカー展示会・試乗会等の啓発活動	
循環	■資源の循環をさらに促進する。									
	一般廃棄物のリサイクル率を倍増する。	倍増(2008年度比)	11.5%	2008	12.1%	2011	52.6%	5.2%	「大阪府循環型社会推進計画」(2011年度策定)に基づき、資源の循環的利用などのほか、廃棄物の排出・処分量の抑制、適正処理を推進し、「循環型社会」の構築に取り組みます。	
	産業廃棄物の最終処分量をさらに削減する。	48万t	67万t	2005	47万t	2010	-	105%	・排出事業者に対する指導を徹底 ・健全な産業廃棄物処理業者の育成	
	■リサイクル社会を実現する府民行動を拡大する。									
	リサイクル製品を購入する府民を倍増する。	倍増	34.3%	2009	53.8%	2012	78.4%	56.9%	「大阪府循環型社会推進計画」(2011年度策定)に基づき、資源の循環的利用などのほか、廃棄物の排出・処分量の抑制、適正処理を推進し、「循環型社会」の構築に取り組みます。	
資源ゴミを分別する府民を概ね100%にする。	100%	89.4%	2009	95.8%	2012	95.8%	60.4%	「大阪府循環型社会推進計画」(2011年度策定)に基づき、資源の循環的利用などのほか、廃棄物の排出・処分量の抑制、適正処理を推進し、「循環型社会」の構築に取り組みます。		
生物多様性	■生物多様性の損失を止める行動を拡大する。									
	活動する府民を30%増加する。	1.3倍	73,300人	2009	210,137人	2012	221%	622%		
	地域指定を新たに2000ha拡大する。	2,000ha増 (82,870ha)	鳥獣保護区	11,701ha	2009	12,801ha	2012	101%	133%	鳥獣保護区については、「第11次大阪府鳥獣保護事業計画」(2012年3月策定)に基づき、計画どおり指定・更新することができました。 森林に対する国民の要請の多様化・高度化・地球温暖化防止推進等の観点から、公益的機能発揮のために特に重要な森林については、適正な管理・保全をより一層推進する必要があります。新たな地域指定の拡大については、森林所有者や地元市町村等の理解を得ながら取り組みを進めます。
			保安林	16,388ha	2009	16,991ha	2012			
			府立自然公園	2,594ha	2009	3,541ha	2012			
			国定公園	16,498ha	2009	16,498ha	2012			
			近郊緑地保全区域	33,580ha	2009	33,580ha	2012			
			自然環境保全地域	38ha	2009	38ha	2012			
			緑地環境保全地域	32ha	2009	32ha	2012			
			特別緑地保全地区	2ha	2009	2ha	2012			
自然海浜保全地区			22ha	2009	22ha	2012				
国・府指定天然記念物	15ha	2009	15ha	2012						
■生物多様性の府民認知度を70%以上に向上する。	70%	16.9%	2008	33.0%	2012	47.1%	30.3%			

(参考)新環境総合計画の中期的目標と進捗状況

分野	環境総合計画に掲げた目標	目標値(2020年)	計画策定時の状況		最新の状況		目標達成状況※1	目標達成に向けての進捗状況※2	目標達成に向けた方策等
			数値	年度	数値	年度			
健康	<b>■大気環境をさらに改善する。</b>								
	NO2の年平均0.06ppm以下の確実な達成と0.04ppm以上の地域の改善	①0.06ppm未満100% ②0.04ppm以上の地域の改善	①98%(99局/101局) ②-	2009	①100%(100局/100局) ②92%(55局/60局)	2012	①100% ②92%	①100% ②92%	引き続き、0.04ppm以上の地域の改善に向けて、法・条例に基づく排出抑制対策を進めます。
	PM2.5の環境保全目標達成	達成率100%	数値なし		3(1局/33局)	2012	3.0%	-	今後、環境濃度等の把握に努め、効果的な施策のあり方を検討します。
	光化学オキシダント濃度0.12ppm未満	0.12ppm以上の日数 0日	17日	2009	6日	2012	-	64.7%	引き続き、法・条例に基づく排出抑制対策、事業者による自主的取り組みの推進を図ります。
	<b>■水遊びができ、水道水源となりうる水質を目指し、水環境を改善する。</b>								
	B類型のBOD基準3mg/lを満たす河川の割合を8割にする。	80%	63.8%	2009	74.1%	2012	92.6%	63.6%	引き続き、生活排水対策、産業排水対策等の汚濁負荷削減対策の推進、健全な水環境の保全・再生、大阪湾の環境改善対策の推進を図ります。
	<b>■大阪湾を多種多様な生物が継続的に生息出来るようにする。</b>								
	DO5mg/l以上(湾奥部は3mg/l以上)の達成	100%	58.3%	2009	25.0%	2012	25.0%	-	あわせて、増殖場(藻場)の造成及び海藻種苗ロープの設置を行います。
藻場面積400haを目指す。	400ha	352ha	2009	362ha	2012	90.5%	20.8%		
<b>■環境リスクの高い化学物質の排出量を2010年より削減する。</b>	2010年度排出量より削減(4696トン)	5688トン	2008	4664トン	2011	-	-	引き続き、法・条例に基づく届出の受理、事業者に対する指導・助言を通じて化学物質の排出削減を図ります。	

※1 目標達成状況は目標値に対する現状の達成率を記載 計算式:達成率(%)=最新の状況/目標値×100

※2 目標達成に向けての進捗状況は、計画策定時の状況を0%、達成を100%としたときの進捗率を記載 計算式:進捗率(%)=(最新の状況-計画策定時の状況)/(目標値-計画策定時の状況)×100

※3 温室効果ガス排出量の目標の進捗管理について、より実態に即したものとするため、関西電力の毎年度の電力排出係数を用いて算出する方法へ変更した。